

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月補正予算 支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 環境保全林整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 整備係 電話番号：058-272-1111 (内 3201)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 221,708 千円 (現計予算額：278,643 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
現 計 予算額	278,643	0	0	0	0	0	278,643	0	0
補 正 要求額	221,708	0	0	0	0	0	221,708	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成 24 年度に制定された「清流の国ぎふ森林・環境税」により、森林所有者による森林整備の実施が困難な水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林 (以下「環境保全林」) の公益的機能の維持向上のため、市町村や各種団体が行う間伐等に対して支援を行うこととなった。

本事業で平成 24~28 年度に 12,509ha の間伐を行ったが、手入れが必要な水源地域等の森林が 26,000ha 残っている。

第 3 期岐阜県森林づくり基本計画においても、森林・環境税を活用し、5 年間で 13,000ha の間伐を計画しており、環境保全林整備事業費補助金においても目標達成に向け、806ha 分の間伐等を追加実施したい。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

森林所有者による森林整備が困難な環境保全林において、公益的機能の維持向上を図るため、市町村や森林組合等が行う間伐に助成する。

(イ) 内容

1) 環境保全林整備事業費補助金

補助対象事業：除伐、間伐 (搬出なし)、更新伐 (搬出なし)

2) 水源林効果検証モデル事業費

対象事業：県有林において間伐をモデル的に実施し、水源涵養機能に及ぼす効果調査。

(3) 県負担・補助率の考え方

・補助率：10/10 以内

(間伐 上限：県の定める標準事業費、関連条件整備 38 千円/ha)

(4) 類似事業の有無 有：森林整備事業費補助金（公共）

「森林整備事業費補助金」は、持続可能な林業経営を目的とした森林経営計画に基づき森林整備を推進するためのものである。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	221,708	間伐等の森林整備への助成
合計	221,708	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画 1 健全で豊かな森林づくりの推進

(2) 森林の適正な保全 環境保全林の間伐実施面積 2,600ha/ha

(2) 国・他県の状況

環境税事業は、令和元年度時点で、岐阜県を含め 37 県で導入し実施している。

(3) 後年度の財政負担

課税期間内に使途事業の達成状況や効果を検証し、継続等の見直しを行うこととしている。

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：

○環境保全林整備事業費補助金

市町村、森林組合等、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等※環境保全林に区分された森林または区分される予定森林。

○水源林効果検証モデル事業費

県（森林研究所）

2) 妥当性：公益的機能の維持のために森林所有者に代わって森林の整備を行うものであり、要した経費の 10/10 相当を県が負担することは妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	環境保全林整備事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、森林組合、林業事業体、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等 (理由) 森林整備を実施する能力を有するため
補助事業の概要	(目的) 森林所有者の自助努力によっては適切な森林整備が期待されない森林について公益的機能の維持向上を図る。 (内容) 市町村森林整備計画で環境保全林に区分された森林等において間伐等を行う。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他 (内容) 10/10 以内 (理由) 公益的機能の維持のために森林所有者に代わって森林の整備を行うもの。
補助効果	間伐等森林整備の促進
終期の設定	終期：令和3年度 (理由) 清流の国ぎふ森林・環境基金事業の第2期の終期

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
第3期岐阜県森林づくり基本計画に基づき、環境保全のための間伐等の森林整備を 13,000ha 実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H28年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (終期)
① 環境保全林整備事業間伐面積 (ha)	/	10,400	13,000
②	/	/	/

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (要求)
補助金交付実績	/	349,042 千円	316,606 千円	417,502 千円	(要求額) 500,351 千円
指標①目標	/	2,600	5,200	7,800	10,400
指標①実績	/	1,725	3,340	5,362	(推計値)
指標①達成率	/	66%	64%	69%	(推計値) %

指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画 2,600ha/年に対して 2,022ha を実施した。 ・25 市町村で実施した。(令和元年度)
--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 引き続き、年度繰越の活用や事業地の確保、作業の早期着手を働きかけ、事業量の拡大を図る。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	国庫補助を活用した集約化施業による整備が困難な森林の水源地涵養機能や山地災害防止機能等の森林の公益的機能の維持増進を図るためには不可欠な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	目標面積 2,600ha/年に対して、約 78% の 2,022ha の実績であり、概ね計画どおりの成果を上げられている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	整備困難な森林において、計画どおりの成果を上げており、効率的に事業を進めている。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業評価審議会からは、本事業について引き続き推進すべきであるとの意見をいただいている。 ・目標の達成に向け、市町村のゾーニングの支援や、事業の効果検証を実施し、県民に分かりやすく伝える等により事業のPRも図っていく。
--

